

Ⅲ-① 附属生涯スポーツサークル「附中会」の活動(モデル提供)

附属坂出中学校の卒業生が年に1度集い、スポーツを通して親交を深めている。令和元年度は9月29日、坂出市内の城山ゴルフ場に、55名の卒業生や関係者が集まった。最高齢者は昭和27年卒の87歳、最少年齢者は平成17年卒の30歳、皆でゴルフ(個人戦と卒業年度チームによる団体戦)を楽しみながら、思い出話に花を咲かせたり、互いの健幸を喜び合ったりした。

淡河洋一会長(昭和44年卒)によると、本会は今回で32回目を迎え、参加者が多いときには120人ほど集まったという。附属坂出学園出身の元運輸大臣、森田一先生も皆と会えるのを楽しみに参加されていたそう。また、附属教官のOBも参加されることもあり附属学園時代のことを皆で懐かしんだという。最近では若い人の参加が減っているので、どんどんスポーツを通して若手から高齢者まで親交のサークルが広がることを願っているそう。最後には附属坂出学園が伝統を大切に益々発展することを応援しますと力強い言葉をいただいた。

人生100年時代を迎えるにあたり、このような附属坂出学園のつながりを基盤とした生涯スポーツサークル活動がモデルとなり、全国的に広がっていくことが期待される。

*「健幸」とは身体面での健康だけでなく、人々が生きがいを感じ、安心安全で豊かな生活を送れること。

100歳まで健幸でスポーツを楽しみましょう。

附属坂出学園のつながりは人生の宝です。
これからも附属坂出学園を応援します。

昭和58年卒は、この会の夜に毎年、同窓会をしています。

令和元年度 附中会 城山コース, クラブハウスにて(9月29日)